

(様式1-3)

福島県(広野町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	内部被ばく検査事業	事業番号	(3)-23-1
交付団体	広野町		事業実施主体(直接/間接)	広野町(直接)	
総交付対象事業費	(7,467千円) 7,886千円		全体事業費	(7,467千円) 7,886千円	
帰還環境整備に関する目標					
本事業を活用し、原発事故に伴う健康被害に対する町民の不安を払拭する。					
事業概要					
広野町保健センターにおいて、WBC(ホールボディカウンター)を用いて内部被ばく検査事業を実施。 (「広野町復興計画(第1次)の8ページ「基本方針1 誰もが安心して暮らせるまちづくり」、17ページ「②町民の健康の確保」を参照)					
当面の事業概要					
＜令和2年度＞ 内部被ばく検査事業の実施 ・WBCシステム定期点検 349千円 ・通信運搬費 57千円 ・消耗品費 13千円					
地域の帰還環境整備との関係					
日常生活における地域の除染成果を直接目のあたりにすることで、町民の帰還意欲が高まる					
関連する事業の概要					
広野町復興計画(第一次)基本方針1「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を図るため、内部被ばく検査事業やリスクコミュニケーションを通し、町民に対し働きかけを行い町民帰還に結びつける					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式1-3)

福島県(広野町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	帰還住民個人線量計管理業務事業	事業番号	(3)-23-2
交付団体	広野町	事業実施主体(直接/間接)	広野町(直接)		
総交付対象事業費	(43,549千円) 47,082千円	全体事業費	(43,549千円) 47,082千円		
帰還環境整備に関する目標					
個人線量計や積算線量計により、空間線量の監視や外部被ばくの積算データを町民自らが確認し、将来の健康不安を取り除くことで広野町へ帰還を更に加速させることを目的とする。					
事業概要					
広野町では、放射線による健康不安を解消するため、各世帯及び個人に対して個人線量計や積算線量計を貸与している。各放射線測定器については、年1回の定期点検・校正を推奨しており、町としては広報紙やチラシ配布によって年1回の点検・校正のための回収を呼びかけている。回収された各放射線測定器は、定期的によりメーカーに送付し、点検・校正を実施したあと返納され再度、住民へ貸与される。					
当面の事業概要					
＜令和2年度＞ 個人線量計、積算線量計の校正費用及び当業務に係る回収作業、通知による連絡、再配布作業実施、チラシ等の広告物の送付を行うための通信運搬費。 校正費 3,533(千円) 令和3年度以降も同事業を実施する。					
地域の帰還環境整備との関係					
日常生活における地域の除染成果を直接、個人線量計や積算線量計によって目のあたりにすることで、町民の帰還意欲が高まる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-3)

福島県(広野町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	放射線に対する健康不安解消事業	事業番号	(3)-23-3
交付団体	広野町		事業実施主体(直接/間接)	広野町(直接)	
総交付対象事業費	(28,114千円) 34,157千円		全体事業費	(28,114千円) 34,157千円	
帰還環境整備に関する目標					
本事業を活用し、原発事故に伴う健康被害に対する町民の不安を払拭する。					
事業概要					
「放射能と健康の観点から町民帰還の更なる促進のための情報提供を行うため、放射線に関する有識者からなる放射線健康対策委員会を開催し、各委員の日程調整、会議資料の収集調整、議事録の作成、検討結果の公表等サポートを行い、住民の帰還促進及び健康不安の解消に向けた施策に反映する。					
当面の事業概要					
〈令和2年度〉 放射線健康対策委員会を開催し、放射線と健康に係る住民に向けたリスクコミュニケーション資料作成を実施。					
地域の再生加速化との関係					
「広野町復興計画(第二次)」の8ページ「基本方針1 誰もが安心して暮らせるまちづくり」、17ページ「②町民の健康の確保」を参照					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

福島県 (広野町) 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和 2 年 1 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	13	事業名	自家消費野菜等放射能検査事業	事業番号	(3) - 23 - 6
交付団体	広野町	事業実施主体 (直接/間接)	広野町 (直接)		
総交付対象事業費	(37,110 千円) 42,169 千円	全体事業費		(37,110 千円) 42,169 千円	

帰還環境整備に関する目標

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質に対する町民の健康不安は未だ払拭されていない。この問題に対し、当町では自家消費野菜等の放射能検査を実施し、食の安心・安全を確保、公表することにより、内部被ばくによる健康不安の解消を図る。

事業概要

町民が持ち込んだ自家消費野菜等の放射能検査を実施。  
検査所 (1カ所) の検査結果の集約・分析を専門知識のある業者に委託することにより、バックアップ体制を構築し、放射能を正確に管理・分析する。

・検査機器設置場所

	検査場所	住所	機器メーカー	非破壊式放射能 OR 破壊式放射能
1	広野町公民館内	広野町中央台一丁目 1	テクノ X	非破壊式放射能
			桑和貿易	破壊式放射能
			日立アロカ	破壊式放射能
2	広野町役場	広野町大字下北迫字苗代替 35	アトムテックス	破壊式放射能
3	広野こども園	広野町中央台一丁目 8 番地	アトムテックス	破壊式放射能

・検査品目  
自家消費を目的とした農産物、その他の食品

・検体  
検体量は細かく刻んで1kg  
非破壊式の検体量は最低500g以上

・測定結果  
受付の際に時間を指定

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

**当面の事業概要**

<令和2年度>

- ・広野町公民館内の測定所で自家消費野菜等を放射能簡易分析装置により検査を実施する。
- ・検査の結果を毎月1回配布し情報提供をする。
- ・検査結果データの管理・分析及び巡回指導を専門業者に業務委託することにより検査体制の強化を図る。

(内訳)

- ① 定業務委託料：4,009,500円
  - ② 機器校正費：1,007,116円
  - ③ 消耗品：41,563円
- 合計 ①+②+③=5,058,179円

**地域の帰還環境整備との関係**

収穫した自家消費農産物等に含まれる放射性物質の検査実施体制を整備することにより、町民が抱える食への不安を解消し、検査結果を公表することで住民の安心・安全な生活を確保し、事故以前のような地域住民や知り合いなどで分け合うことが出来るコミュニティを復活させ、住民の帰還を促す。

**関連する事業の概要**

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

**関連する基幹事業**

事業番号	
事業名	
交付団体	

**基幹事業との関連性**

--

(様式1-3)

福島県(広野町)帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

令和2年1月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	広野町放射線健康不安等相談事業	事業番号	(3)-24-1
交付団体	広野町	事業実施主体(直接/間接)	広野町(直接)		
総交付対象事業費	(69,617千円) 74,223千円	全体事業費	(69,617千円) 74,223千円		
帰還環境整備に関する目標					
広野町民の放射線健康不安に対する相談員の配置や、専門家による講演会や少人数での意見交換会等を実施することで、放射線災害に伴う心のケア対策を実施、町民の放射線に対する不安の軽減・払拭を図る。					
事業概要					
(1) 広野町内等において、放射線に関する健康不安等についての聞き取り及び相談会、研修会を実施する。また、町内各種イベントにおいて相談室ブースを設け、放射線に関する広報を行う。					
(2) 広野町内等において、放射線に関する専門家を招へいし、講演会を開催する。					
(3) 聞き取った相談内容や、広野町役場で配布している個人線量計に関する相談事項、放射線量測定結果、広野町内モニタリング結果等を広野町役場、関係機関と情報共有・整理を行い、これらに対し町民へ個別または少人数グループに対し適切な説明・回答と共に、意見交換会を実施し、放射線の健康への影響に対する不安を軽減、払拭を図る。					
(4) 経費(令和2年度:4,606千円) 別紙積算根拠のとおり					
(5) 広野町復興計画(第二次、平成26年3月31日策定)における位置付け 3.復興構想(3)基本理念・方針、基本方針1「誰もが安心して暮らせるまちづくり」中「特に、原発事故に伴う健康被害、風評被害や事業所の閉鎖等による雇用不安等に対して、できる限りの取り組みを行い、少しでも町民の不安を取り除き、安心して暮らせるまちづくりを行います。」に位置付けられるもの。					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
＜令和2年度＞					
・相談員に研修等を実施する。					
・広野町等において相談会を開催し、健康不安に関する相談を聞き取り、関係部署に共有するとともに、相談事項の集約・整理の補助を行い、専門家や関係機関と連携しながら回答等を行う。					
・広野町役場内にて、個人線量計配付業務で得られた相談事項、戸別訪問や相談会をとおして寄せられた相談事項を、集約・整理し、さらに、個人線量計測定結果、広野町内モニタリング結果を分析し、専門家や関係機関と連携しながら回答等の準備を行う。					
・広野町等において、放射線に関する専門家を招へいし、講演会や少人数での意見交換会等を開催し、放射線に対する基礎的な知識を身につけるサポートを行うとともに、放射線災害に伴う心のケア対策を実施、町民の放射線に対する不安の軽減・払拭を図る。					
・町イベントに参加し、放射線に関する広報を行う。					
地域の帰還環境整備との関係					
広野町復興計画(第二次)基本方針1「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を図るため、本事業にて放射線に関する不安の軽減・払拭を図り、町民帰還に結び付ける。					

<b>関連する事業の概要</b>
------------------

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

<b>関連する基幹事業</b>
-----------------

<b>事業番号</b>	
-------------	--

<b>事業名</b>	
------------	--

<b>交付団体</b>	
-------------	--

<b>基幹事業との関連性</b>
------------------